

学長室から

竹屋 元裕

「曲水の宴」
雅な雰囲気の中で行われた

「曲水の宴」で和歌を詠む

皆さんは「曲水の宴」をご存じでしょうか？ 元々は平安時代の宮廷行事で、庭園の曲水の周りに歌人（うたびと）が座り、流れてくる盃が通り過ぎるまでに和歌を詠み、出来なければ罰として盃の酒を飲むという行事です。現在は日本各地で「曲水の宴」が再現され、太宰府天満宮や上賀茂神社のものが有名ですが、熊本では平成22年から熊本市北区龍田の天拝山山頂にある「代継宮」で開催されています。

この3月に世継宮禰宜の漆島典和氏から依頼を受け、和歌を詠んだことはなく知識もないので戸惑いましたが、熱心なご依頼で仕方なく引き受けました。その後、前理事長の崎元先生が昨年の歌人を務められた事を知り、あらかじめ歌題の連絡があるので、前もって和歌を準備すれば良いと聞き安心しました。

連休中の5月4日に開催された「曲水の宴」には7人の歌人が参加し、男性は私を含め各界から4人、女性の歌人は地元テレビ局のアナウンサー3人

が務めました。男は衣冠束帯、女は十二単（ひとえ）などの平安衣装を纏い、木々に囲まれた曲水の庭園で優雅な雰囲気を楽しみました。初めて和歌を詠むことになりましたが、平安貴族に扮して、一生に一度の貴重な体験をすることが出来ました。当日の歌題は「山吹」と「鶯」で、宴の終わりにそれぞれの歌人の和歌1首ずつが詠人（よみびと）により披露されました。

天拝山禍ひ去りて曲水に 夏鶯（なつうぐいす）の声冴えわたる 元裕



衣冠束帯姿で和歌を詠む筆者

天拝山 禍ひ去りて曲水に

夏鶯の声冴えわたる

元裕

大学生生活慣れた？ 初年次生に向けピア・サポ相談会



訪れた初年次生の相談に対応するピア・サポーターたち（向こう側）

ピア・サポーターによる相談会（学生生活等）が5月17（水）、18日（木）の昼休み、キャンパステラスでありました。初年次生が学生生活に少し慣れてきた時期に毎年開催されており、今回は科目ごとの勉強の仕方や、学業とアルバイトとの両立について、一人暮らしで困っていること等の相談が多く寄せられました。

ピア・サポーターたちは、自らが経験してきたことを思い出しながら、優しくアドバイスをしていました。また、会場入り口で参加を迷っている1年生に声を掛けるなど、入りやすい雰囲気作りも心がけていました。次回の相談会は前期定期試験前に開催予定です。

（学生相談・修学サポートセンター）

福岡脳神経外科病院と包括連携協定

認定看護師
脳卒中分野

福岡キャンパス、で充実図る

脳卒中看護分野の認定看護師教育の充実に向けた包括連携協定を、本学と医療法人光川会福岡脳神経外科病院（福岡市南区）が締結しました。同病院を「福岡キャンパス」と位置づけ、同病院所属の認定看護師がクロスアポイント制度を利用して教員となり、現地で認定看護師教育課程脳卒中看護分野のカリキュラムの主要部分となる対面授業や臨地実習を担うこととなります。



締結式後、記念撮影する福岡脳神経外科病院と本学の関係者

本学では2009年にキャリア教育研修センターを発足させ、脳卒中看護（現定員6人）と認知症看護（同12人）の両分野で日本看護協会の認定看護師を養成しています。研修期間は1年間で、これまでに両分野で計228人の認定看護師が誕生。全国の医療機関で活躍しています。

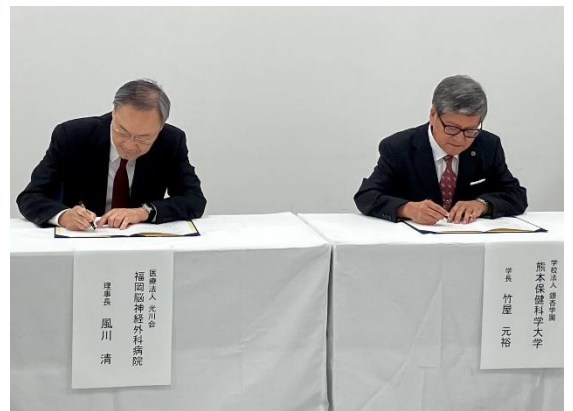
特に、脳卒中看護分野のカリキュラムを持つのは、全国の医療系大学の中では実質的に本学だけで、医師の指示のもと高度な医療行為ができる「特定行為」のカリキュラムも含んでいます。ただ、同分野の指導スタッフの確保が難しく、これまで、認知症看護分野と交互に開講する隔年開講という形をとっていました。

一方、同病院は、脳血管内手術実績で全国2位、九州・沖縄では1位の実績（2020年）を誇る単科病院です。今回の協定は、本学キャリア教育研修センターの課程長を務めた橋本宜子看護部参与や、当時の教え子で本学の脳卒中看護分野で教鞭を執った経験を持つ杉本智波看護部長らの働きかけで実現しました。

締結式は5月27日（土）、本学会議室であり、関係者計11人が出席。川口辰哉キャリア教育研修センター長が「福岡キャンパス構想」と名付けた協定の内容を説明し、同病院の風川清理事長と竹

屋元裕学長が協定書に署名しました。引き続き、風川理事長が「スタッフ一丸となり、（研修生が）元の医療機関で中核として活躍できるよう力を尽くしていきます」、竹屋学長が「この協定が実り多いものとなるよう、本学でも努力していきます」と、それぞれあいさつしました。

協定により、本学では脳卒中看護分野の毎年開講が可能になります。今後は、具体的な教育プランの策定と厚生労働省への報告を行い、研修生募集を経て来年度開講を目指します。（NL編集部）



協定書に署名する竹屋学長（右）と風川理事長

新任教員 私の研究 4

本年度、本学に赴任した教員の皆さんの研究内容を紹介します。



浅尾 由美
助産別科准教授

医療の現場から虐待予防支える

私は子ども虐待予防に関する医療機関の看護師・助産師の認識・教育・組織のシステムについて研究をしています。年々子ども虐待相談対応件数も増加し、虐待の発生予防及び早期発見が重要で、妊娠期からの支援の強化が言われています。各医療機関も子ども虐待に関する支援体制は整備されていると考えますが、現在医療機関のシステムや看護職の認識の現状と効果的な教育方法について研究を進めていきたいと考えております。

関心持ち 学んで変わる…寄り添える人に

「多様性と調和」は、東京2020オリンピック・パラリンピックのテーマにもなりました。松本佳代講師が担当する本セミナーでは、障害、貧困、ジェンダー、マイノリティなどをテーマに、日本や世界で起きていることと、それに対する取り組みについて紹介します。同時に、自分の関心のあるテーマについて調べたことを共有します。

5月17日（水）の講義では、筑波大学人間総合科学学術院の特別研究員で、障害者の権利擁護に取り組む延原稚枝氏をゲスト講師に招き、「障害のある人が地域で暮らす」というテーマで実践報告とディスカッションを行いました。

延原氏は、障害を抱えながら地域で暮らす際の社会的障壁や大切にしたい観点などについて話しました。その上で誰もが住みやすい社会づくりについて学生達で話し合いました。学生の間からは「関心を持つこと、知識や経験を増やすことが大切」「私たちが学んで変わっていけば、障害がある人が地域で暮らしていくことができると思う」「寄り添える人

になりたい」などの意見が出ました。

松本講師は「将来専門職としてかかわる人々の尊厳を守り、生活を豊かにできるような支えてほしい」と、本セミナーの狙いを話していました。

（入試・広報課）



実践報告後に、グループディスカッションを行う学生たち

2023年度科研費新規採択（学術振興課）

種目	氏名	期間	研究課題名	交付予定額（円）
文科省科研費 基盤研究（C）	青木 学	2023-2025	HIVプロテアーゼ(PR)阻害剤によるHIVPR/Integrase 2重阻害メカニズムの解明	3,600,000
文科省科研費 基盤研究（C）	川口 弥恵子	2023-2026	看護師の見えない仕事に注目した基礎教育プログラム開発—エスノグラフィ調査をもとに	3,100,000
文科省科研費 基盤研究（C）	江上 史子	2023-2027	高度実践看護師の研究能力を強化する研究支援システムの開発と検証	3,100,000
文科省科研費 基盤研究（C）	甲斐村 美智子	2023-2025	コロナ共存時代における幼児の睡眠と環境に関する研究	2,900,000
文科省科研費 基盤研究（C）	申 敏哲	2023-2025	舌への体性感覚刺激がADHD病態モデルラットに及ぼす影響	1,100,000
文科省科研費 基盤研究（C）	土井 篤	2023-2025	半側空間無視への運動介入と機能回復に関わる脳内機構の多面的研究	3,600,000
文科省科研費 基盤研究（C）	松尾 崇史	2023-2025	左偏移プリズム順応が言語流暢性や脳血流動態に与える影響と臨床的有用性の検証	3,200,000
文科省科研費 若手研究	亀山 広喜	2023-2025	小細胞肺癌の転移能や増殖能にかかわる、カドヘリンの新機能	3,600,000
文科省科研費 若手研究	小手川 耕平	2023-2026	運動イメージにおける個人差の発生機序の解明と個人特性に合わせたVR介入の検討	2,200,000
厚生労働行政推進 調査事業費補助金	蛭田 修	2023-2026	医薬品製造業者等における品質問題事案の発生予防及び品質の継続的な維持向上に向けた調査研究	5,340,000

◆熊本中央高生が本学訪問 熊本中央高校の3年生26人が5月26日（金）、本学を訪れ、キャンパス見学や模擬授業に参加しました。一行は、入試・広報課職員から大学概要について説明を受けた後、アリーナなど学内を見学。その後、リハビリテーション学科生活機能療法学専攻の吉田真理子准教授による「やる気“を作る方法～脳科学を踏まえて～」と題した模擬授業を受講しました。授業の最後には「自分を変えるのは行動。やる気をコントロールして、充実した毎日を送ろう」との力強いメッセージを受け取り、生徒の皆さんは熱心にメモを取りながら話を聞いていました。（入試・広報課）



熊本中央高校の生徒さんを前に、模擬授業をする吉田准教授



汗かいた後のお楽しみ

多くの学生が利用しているJR西里駅。日頃の感謝の気持ちを込め、5月27日（土）に学友会会員が駅周辺の清掃作業に汗を流しました。「新入生歓迎」と銘打った同取り組みのお楽しみは、作業後のバーベキュー。極上の(?)肉に全員が舌鼓を打ちながら、親睦を深めていました。

(入試・広報課)



インフォメーション

週間行事予定（6月1日～9日）

6 / 5 (月) 13:00～
 (場所: 3109M講義室)
 6 / 9 (金) 13:30～
 (場所: 3108M講義室)

R5年度 新任教員によるお披露目講演会及び昇任教授による講演会
 R4年度 大学教育改革推進プログラム(学長裁量経費) 成果報告会